

まちの話題

観蓮会

7月25日、井戸尻考古館建館30周年を記念して井戸尻史跡公園で約1100㎡のハス田に咲く6種類のハスを観賞する観蓮会が開催されました。

ハスは植栽して10年目を迎え、色鮮やかなハスの花は史跡公園の雰囲気と調和し、来た人を魅了していました。その他に記念事業として、音楽演奏、裏千家による野点、野菜の直売などが行われました。



大賀ハス

どろんこバレー大会

7月25日、第3回どろんこバレーふじみ大会が行なわれました。町内外から36チーム、男女約400人が参加しました。それぞれ工夫を凝らしたユニホームで真剣に試合をしていましたが、中には全身泥まみれになることを楽しんでいる人々もいました。

優勝、準優勝チームには竹竿や熊手にゴザを付けた優勝旗が渡され、笑いの渦となっていました。



童心に返ったかのように泥とジャレあっていました。とても楽しそうでした。

私は東京の西部の福生市に住んでおります。故郷を出て43年になります。西多摩地域の中心に位置し、市の面積の約半分近くが横田基地です。行事としては七夕祭が有名です。車で30分位で、秩父多摩国立公園の秋川、奥多摩渓谷があり、環境には恵まれています。

今全国的に自然環境問題が関心となり、現市長さんが長野県の辰野の出身の方ということもあり、私の住んでいる町内会でもホタル公園を作り、ホタルの養殖をして、毎年6月にホタル祭りを行っていただきます。近隣や地域の皆さんに観賞していただき、大変喜ばれています。丁度私の店の前で祭りをを行いますので大変な賑わいになります。子供の頃、故郷の田んぼでホタルを追った思い出が懐かしくなります。



樋口 拓行
東京都福生市
(字の木出身)

ふるさとのみなさんへ
東都高原富士見会だより

自然にホタルが出る環境を守っていくことが大切であり、使命であると痛感しています。また、近郊の長野県出身の皆さんで、長野県の県花にちなんで、「りんどうの会」を作り、50人位の会員と旅行やゴルフをやって親睦を深めています。昨年は富士見高原と清里にバスで行ってきました。八ヶ岳の保養地に別荘がある関係で富士見の皆さんには何かとお世話になり、また暖かいお付き合いをさせて頂いております。紙面で大変失礼ですが、感謝とお礼を申し上げます。東京での生活が故郷より、倍以上になります。望郷の思いの方が強く、富士見町の恵まれた風土と観光文化、行政等の優れた環境に対して自信を持って答えられることを誇りに思っております。